

「2022年度化学工学会インターンシップ」を終えて

公益社団法人化学工学会 人材育成センター高等教育委員会

人材育成センターでは、毎年、大学院生のインターンシップ研修学生の受入れを希望する会社を募り、大学院生に研修で会社での業務の体験をして頂いています。本年度は15社で研修を準備頂き、19の大学から68名の大学院生の応募がありました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大が懸念されたため、昨年と同様に研修学生の受入れを断念する会社が多く、受入れ希望会社数は昨年と同数でした。マッチング実施後、研修を実施し、25名の修了者には修了証が贈られます。

化学工学会インターンシップは、学生の研修受入れを希望する会社に協力頂き、化学工学系のテーマやコースを設定し、2週間から1ヶ月の比較的長い期間の研修をおこなうのが特徴です。大幅に拡大したCOVID-19の影響で、今年も多くで遠隔会議システムを利用したオンラインで且つ短期間の研修になる懸念がありましたが、COVID-19対策の手探り状態が1年でかなり改善し、また各社で感染対策に工夫頂き、実地の研修実施は昨年の4社

から11社と大幅に増えました。なお、一部の実地での研修ができなかった学生の皆様には誠に申し訳ありませんでした。また、学生の受入れ準備をして頂いた各社の人事や企画関係部署、インターンシップ研修を実施頂いた部署におかれては、急遽のプログラム変更やCOVID-19に対応しながらのインターンシップ研修の実施を助けて頂き、誠にありがとうございました。誌面を借りて御礼申し上げます。

例年研修修了後におこなっているインターンシップ報告会は昨年度同様、12月6日(火)～8日(木)の3日間で開催した、本年度で第3回となる高等教育委員会と資格制度委員会共同のコラボイベント『集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会』の中で、本会資格制度の紹介および学生向け会社紹介と併せておこないました。高等教育委員会委員長からの本会インターンシップの紹介に引き続き、インターンシップ研修学生4名に体験報告をして頂きました。

以下にインターンシップ研修を実施した学生からの一言コメントを掲載します。

氏名	大学名	一言コメント	研修先会社
荒木 大輔	金沢大学	実際の業務に近いシミュレータ計算をおこなうことで、企業で働くことのイメージができた。	東ソー(株)
池田 椿	横浜国立大学	実際の業務を体験する中で、化学工学の重要性や安全に対する意識、大学と企業の研究への取り組み方の違いを学ぶことができた。	(株)カネカ
大倉 聡太	広島大学	新規プロジェクトの評価に向けて、プロジェクト概要(主に原油・ガス処理プロセス)を理解してとりまとめた。エネルギー開発企業への理解が深まるのと同時に化学工学の知識が重要であることを実感した。	(株)INPEX
大城 篤司	大阪公立大学	プロセス設計の業務を通じ、安全面やコスト面を考慮しつつ、研究室では味わえない規模感で業務を体験することで、エンジニアとして今後自分に必要な要素を理解できました。	日揮グローバル(株)／日揮(株)
梶原 洋	大阪公立大学	企業研究の姿勢を学ぶことを目的に取り組み、高い専門性を生かした画期的な研究および成果発表ができた。	花王(株)
河本 旺人	広島大学	シミュレーターを用いたプラント概略設計及び最適化計算を通して、化学工学が会社でどのように使われているか分かった。	東ソー(株)
神田 渉	広島大学	社員の方がおこなう実験と同様な実験をさせて頂くという非常に貴重な経験をすることができた。	(株)カネカ
久保早友理	京都工芸繊維大学	反応器設計の業務体験を通して、仕事で化学工学がどのように活かされているのかや実際の職場の雰囲気を学んだ。	東レ(株)
後藤駿之介	金沢大学	実際の業務に携わったため、具体的な仕事内容を理解することができ、就職活動のモチベーションが向上した。	住友化学(株)
後藤 拓磨	早稲田大学	企業と大学の研究の違いを感じたと共に、学んだ化学工学の知識がどのように使われているか知ることができた。	東亜合成(株)
塩谷 友希	信州大学	シミュレーターを用いて装置の最適化をおこなった。研修を通じてプラント設計の難しさとやりがいを実感できた。	東ソー(株)
田嶋 将也	大阪公立大学	製品の実生産に向けた研究の中で、化学工学を実践的に扱う手法・アプローチを学ぶことができた。	花王(株)

玉利 航暉	鹿児島大学	他分野や他部署の違う考えを持つ人たちと上手く連携をとるコミュニケーション能力が必要だと感じた。	JNC(株)
出来 優花	東京農工大学	業務内容及び化学工学の知識の活用方法を理解でき、自分のエンジニアとしての将来像が明確になった。	東洋エンジニアリング(株)
藤木 孝哉	神戸大学	インターンを通じて、都市ガス製造の技術や規模感の大きさを知ることができた。また化学工学の実装を知ることができ化学工学の重要性を実感した。	大阪ガス(株)
松谷 虹佑	宇都宮大学	今回のインターンシップでは、シミュレーションを用いてプラント運転の最適条件を検討した。普段の業務から化学工学の知見を活かしながら働いていることを実感することができた。	東洋エンジニアリング(株)
松本 栄祐	広島大学	2週間という期間で、化学工学の活用のされ方、安全意識など学ぶことが多く、会社に入ってから自身の姿を想像できるようになった。本当にありがとうございました。	東レ(株)
松本穰之介	大阪公立大学	粒子のノズル部への堆積現象の要因解明とノズル形状の更なる改善に取り組んだ。可視化実験と数値解析の両方に取り組めたことが有意義だった。	花王(株)
的場 優仁	宇都宮大学	今回熱交換器の設計をおこない、化学工学の内容がどのように社会で活かされていて、いかに重要な学問か肌で感じる事ができた。	(株)ENEOS マテリアル
三宅 章太	大阪公立大学	座学で学んできた化工計算の発展と、コストを意識したプロセスの考え方を学べたことが非常に有意義でした。	日揮グローバル(株)／日揮(株)
宮下 大空	埼玉大学	攪拌ボルテックス現象についてCFD解析をおこなった。企業の研究ならではの考え方を体感することができた。	(株)クレハ
向井 将也	金沢大学	化学工学が企業の業務でどのように活かされているのか及び、安全意識の高さを体験することができた。	東レ(株)
森田 俊哉	山口大学	流体解析シミュレーションのインターンシップをおこないました。実際に解析をすることで業務を理解できた。	(株)ダイセル
山口 典宏	佐賀大学	実際の業務に携わることで職場のリアルな雰囲気を体験し、将来自分の働く姿を明確にすることができた。	東レ(株)
山本 友羽	東京農工大学	CFD解析手段が製品の開発およびスケールアップにどう活かされ使われているのか学ぶことができた。	(株)クレハ